

	鹿児島大学 理学分野
学部等の教育研究 組織の名称	理学部（第1年次:185） 大学院理工学研究科（M:286 D:24）
沿革	明治34（1901）年 第七高等学校創立 昭和24（1949）年 新制鹿児島大学文理学部設置 昭和40（1965）年 文理学部改組により理学部設置 昭和52（1977）年 大学院理学研究科設置 平成10（1998）年 大学院理学研究科を廃止、大学院理工学研究科設置
設置目的等	<p>鹿児島大学理学部・理工学研究科の母体の一つである第七高等学校は、専門教育を授けることを目的として明治34（1901）年に設置された。新制国立大学の発足時には、第七高等学校は、鹿児島大学文理学部として承継された。</p> <p>昭和52（1977）年に、科学理論の発展と実験技術の進歩による最近の自然科学の新領域を学部において基礎的知識を修得した者に対して教育、研究して、社会の要請に応えることを目的に理学研究科が設置された。</p> <p>平成10（1998）年に、工学研究科と理学研究科を理工学研究科に統合・改組して、理学及び工学分野の教育研究の一層の充実を図り、科学の基礎的な研究を基盤にした独創的な科学技術の開発を着実に進め創造力のある人材を育成し、大学としての社会に果たすべき責任と役割を実行するため、理工学研究科を設置した。</p>
強みや特色、 社会的な役割	<p>鹿児島大学は、自然現象の中に潜む真理を探求する「理学」の更なる進展のため、南九州・南西諸島域という自然に恵まれた地理的特色を生かし基礎科学を中心とする自然科学の教育・研究を進めながら、大学の使命である教育・研究・社会貢献に取り組んできたところであり、以下の強みや特色、社会的な役割を有している。</p> <p>○ 幅広い教養、論理的科学的思考力、社会性・国際性、先端科学の知識と問題解決能力等を身につける教育等を展開し、創造的で指導的な役割を担う専門的職業人の育成の役割を果たすとともに、未知の課題に挑戦する研究者・技術者として活躍できる高度な研究能力を有する人材育成の役割を果たす。</p>

- 分野横断型教育体制による多分野適応人材養成、主体的学習を促す少人数課題研究教育「サイエンスクラブ」などの特色ある教育改革を進めてきた実績、学生・研究者の国際交流の実績等を生かし、グローバルに活躍できる人材を育成する学部・大学院教育を目指す。
- 我が国の地震及び火山噴火予知事業のもと附属南西島弧地震火山観測所を中心に世界有数の活火山桜島を含む南九州・南西諸島域の地震・火山活動の研究、世界遺産屋久島を含む南西諸島から熱帯アジア地域までの生物多様性の教育・研究、VERA計画など国立天文台や海外の多数の研究機関と強い連携関係を持つ天文宇宙の研究実績、海外の研究機関・研究者との共同研究の実績等を生かし、理学の諸分野を推進し、地域社会の発展や我が国の理学の発展に寄与する。
- 地方自治体等への専門委員としての専門的知識の提供、鹿児島県教育委員会や鹿児島県内外の高校と協力連携した理科教育推進事業、女子中高校生のための鹿児島大学科学体験塾の実施、出前授業・出張授業など、地域へ貢献してきたこれまでの実績を生かし、学術の進展や地域の知識社会化の推進に寄与する。
- 鹿児島県・市教育委員会との連携で小中学校の現職教員も対象にした教育プログラム「コアサイエンスティチャー養成プログラム」の実施など、大学院への社会人受け入れ促進や、超小型人工衛星の地元企業との共同開発などの実績を生かし、地域社会への貢献に資する。